

食べる喜びを伝えるケアスキル —ポジショニングと食事介助— in 別府

開催日時:平成29年5月19日(金) 17:30~19:00

会場:社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

講師:日本赤十字広島看護大学 特任教授 迫田綾子先生

演習サポーター:摂食・嚥下障害看護認定看護師 佐藤龍馬氏、東玲子氏、幸邦子氏

参加者: 62名

(職種内訳:看護師30名、介護福祉士7名、理学療法士12名、作業療法士7名、言語聴覚士7名、管理栄養士4名、医師2名、その他1名)



今回、迫田綾子先生とのご縁があり、当センターの摂食・嚥下に対するきっかけ作りにご協力いただきました。

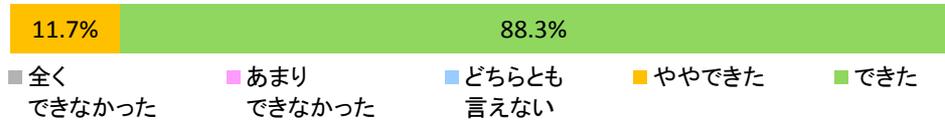
〈 研修の振り返り 〉

- ・食事介助の演習を実際に行うことでいかに患者に負担をかけた方法で支援していたか実感することができました。
- ・実践の内容が多く、体験することで理解できました。
- ・患者の人間性を尊重するアプローチやケアを常に念頭に置き、倫理の視点を欠かさない姿勢で関わっていきたいです。
- ・懐かしい味が開口につながる・・・介助を受ける立場を考えれば基本的な事 だとハッとさせられました。たくさんのヒントをありがとうございました。

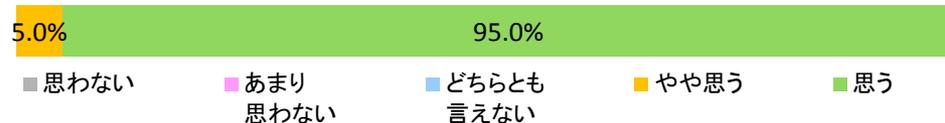


〈 研修のアンケート結果 〉 アンケート回答者数:60名 回答率:96.7%

Q. 食事時のポジショニング技術を学ぶことができましたか？



Q. 食事のポジショニングに取り組むことにより、安全で安心感が得られる支援につながると思えますか？



Q. 今後、食事時に患者が安全で安心感を得ることができるポジショニングを提供したいと思えますか？

